

JCHM趣意書

ヒトには多種多様な微生物が共生している。近年の様々な生命科学技術の進歩に伴い、これらの「ヒト常在細菌」が多くの疾病に関わっている事が明らかとなってきた。欧米ではヒト常在菌の重要性が早くから認識され、腸内環境解析を中心に多くの政府系研究資金が投入され研究が進められている。欧米において蓄積されたデータに加え、本邦においてもその腸内環境の全容解明は必須と言える。そこで、東京工業大学は日本人腸内環境の全容解明をテーマに掲げ、日本人腸内微生物データベース構築による「日本人固有の腸内環境及び腸内代謝系の発見」や「疾病マーカーの発見」を目指したプロジェクト活動を推進する。

ヒト腸内環境解析は様々な先端技術の集合である。JCHMにおいて、東京工業大学や関連研究機関が持つ技術的ノウハウおよび各プロジェクト内で構築されたデータを積極的に公開することで、本邦における腸内環境研究を推進する。

東京工業大学 JCHM代表 山田拓司